

平成二十九年六月投句

【香椎宮】

楠若葉勅使道なるしやれたカフエ

盛り上がる樟の根涼し勅使道

神域の闇にすつくと今年竹

勝利

竹の皮散りて宿禰の井のひそと

真理子

魚採る刹那の鷺の五月闇

膝を折り水無月に汲む老の水

踏切をわたる緑の勅使道

楠の香の緑陰つづく勅使道

丹の色の柵巡らせて木下闇

節子

棺掛の木に引き返す木下闇

由紀子

宮裏の名水静か蝸牛

草の闇深まるほどに蛍の火

取り置いてくれし実梅をジャムにして

緑陰の井戸に伝へて不老水

光子

古宮へ櫓の花の匂ひけり